

交通安全の見守り人 熊本県交通安全推進連盟の定時総会

熊本県交通安全推進連盟の定時総会が6月5日、熊本テルサで開催され、交通指導員の緒方秋生さん(杉並台)が表彰されました。

交通指導員は、町内の通学路で地域の皆さんの交通安全の見守りや街頭指導、小学校での交通指導を行っています。

緒方さんは「菊陽町の交通事故が1件でもなくなるよう、これからも交通指導員の活動に尽力します」と力を込めて話しました。



▲交通指導員を15年勤める緒方秋生さん

夢に向けた経営努力 (株)名古屋精密金型と立地協定締結

菊陽町と(株)名古屋精密金型(渡邊幸男社長)は6月26日、熊本県庁で県立ち会いのもと企業立地協定を締結しました。同社は昭和60年に本町に熊本工場を建設して以来、30年間自動車用のヘッドランプを中心とした金型を製作。海外展開も行うなど、先進的に取り組んできました。

渡邊社長は「中国やアメリカで作られる車にも、自社の金型が使われるという夢に向けて、今後も経営努力を行います」と話しました。



▲握手を交わす(左から)後藤三雄町長、渡邊幸男社長、高口義幸部長

菊陽町が第1号！子育てや健康、食分野で連携 尚綱大学と包括連携協定を締結

町と尚綱大学・尚綱大学短期大学部は6月26日、菊陽町役場で包括連携協定を締結しました。同大学は本町に大学キャンパス、附属幼稚園が立地。幼児教育の活動を行い、地域と連携してきました。今後、子育てや健康、食など幅広い分野で互いに協力し、地域の活性化に取り組みしていきます。後藤三雄町長は「県内唯一の女子大として、女性目線でまちづくりや子育て支援などの課題解決をお願いしたい」と話しました。



▲尚綱大の森正人学長(前列左から2人目)と後藤三雄町長(同3人目)

県内初！ゼンリンと防災マップ作成 菊陽町総合防災マップを協働発行

町と(株)ゼンリンは7月3日、「菊陽町総合防災マップ」の協働発行の協定を締結しました。

マップには、町内全域の水害・土砂災害の危険箇所や避難場所、不審者発生などの防犯情報、交通事故多発地点などを掲載。町内全世帯へ10月に配布する予定です。後藤三雄町長は「より安全安心なまちづくりにつながる」と期待を込め、同社の松田直樹部長は「町と町民をつなぐツールにしたい」と話しました。



▲(左から)後藤三雄町長、松田直樹部長、立会人の布田悟商工会会長

現場力の向上を目指す 富士フイルム九州(株)創立10周年

菊陽町に創立されてから10周年を迎えた富士フイルム九州(株)(鈴木直明社長)が6月10日、同社で記念式典を開催しました。

式典には、富士フイルム(株)の古森重隆代表取締役会長CEOや浦島郁夫県知事、後藤三雄町長などが出席。鈴木社長は「今後の発展の方向性を明確にし、地域貢献を積極的に行っていく」と抱負を話しました。

後藤三雄町長は「自然に配慮し、地域活動にも取り組んできた御社と今後も共に発展していきたい」と期待を込めました。



1 祝いの言葉を述べる後藤三雄町長 2 創立10周年を記念し、あいさつする古森重隆代表取締役会長CEO 3 式典後、記念樹「春めき桜」を植樹

地域の力で社会を明るく

「明るく住みよい社会をめざす」青少年のつどい

「明るく住みよい社会をめざす」青少年のつどいを7月4日に図書館ホールで開催しました。関係団体や町民など約500人が参加し、盛大に実施しました。この大会は、犯罪のない安全で安心な地域社会を築く「社会を明るくする運動推進大会」と、青少年の健全育成を目指す「青少年のつどい」との合同開催です。

大会は菊陽中学校合唱部のオープニングセレモニーで開幕。社会を明るくする運動の啓発ビデオ上映では、罪を犯した人の立ち直りを地域で支える取り組みを紹介しました。その

後、小中学生が「私の夢と地域との関わり」をテーマに将来の進路や地域への感謝、社会への思いを語りました。記念講演では、更生保護法人熊本県更生保護協会理事長の米満弘之さんが「生まれてきてよかった、生きていてよかった、まだ長生きしたい」と題し「差別はあらゆる人の心にあるが人はみんな同じ。社会の仲間として温かく受け入れることが大事」と講演しました。

参加者は大会を通して、家族や地域で「支え合う心」の大切さについてあらためて理解を深めました。



1 中部小6年の友井寧音さんは「おかえり」の一言から地域の大切さ、感謝に気付いたことを発表した 2 菊陽中合唱部23人は美しいハーモニーを披露した 3 米満弘之さんは「地域こそ生きがいの根本」と話す